

# はじめに

## 1 「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」の取組について

少子化や過疎化が進行する人口減少社会を迎える中、現行の学校規模を維持することが困難な学校が増加することが見込まれ、地域の実情に応じて少子化に対応した活力ある学校教育を推進することが求められています。また、地域課題に取り組む上で中心的な役割を果たす若手の担い手などの人材不足が課題となっており、そのような地域のコミュニティの維持向上が急務となっています。

平成27年度より実施されている「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」では、ICTの活用による、遠隔地間における児童生徒の学びの充実や、社会教育施設などと連携した遠隔講座の実施など、学校教育及び社会教育における教育の質の維持向上を図るための諸課題について検討するための実証研究が行われています。この実証事業は、「学校教育におけるICTを活用した実証事業」と「人口過少地域におけるICTを活用した社会教育実証事業」の2つに分かれています。

12の地域によって取り組まれている「学校教育におけるICTを活用した実証事業」では、人口過少地域における小規模校の教育上の課題を克服するために、学校同士をICTでつなぎ、同学年の学級同士で協働学習などを継続的に実施し、指導方法やカリキュラムの開発及び学習効果の検証を行います。

5つの民間団体によって取り組まれている「人口過少地域におけるICTを活用した社会教育実証事業」では、それぞれの地域の教育委員会と連携しながら、ICTを活用して遠隔地間の社会教育施設などをつなぎ、学習機会の提供や若手の担い手などの養成・研修などを行い、人口過少地域のコミュニティ機能や、教育水準の維持向上を図ります。具体的には、地域人材育成研修講座や、地域住民や子供たちへの遠隔講座などを実施し、ICTを活用した地域課題を解決するための社会教育プログラムの構築や、社会教育構築体制の在り方に資する実証を行います。

各実証事業における主なテーマ

	学校教育におけるICTを活用した実証事業	人口過少地域におけるICTを活用した社会教育実証事業
平成27年度 (1年目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時における指導モデルの検討</li> <li>・ICT機器等の導入方法及び遠隔合同授業を実施するための取組についての実証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器等の導入方法及び、遠隔学習を実施するまでの取組についての実証</li> </ul>
平成28年度 (2年目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元における指導モデルの検討</li> <li>・授業実践を踏まえた、ICT活用の効果の高い場面及び、意図した効果が得られがたい場面の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践を踏まえた、ICTを活用した地域課題解決を図る事例及び、意図した効果が得られがたい事例の検討</li> </ul>
平成29年度 (3年目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年における指導モデルの検討</li> <li>・効果的な授業実践を行うためのモデル事例の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した、地域課題に対応した社会教育プログラムの体系化と、その普及</li> </ul>

## 2 このガイドブックについて

本書は、平成28年度の「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」の実証研究を踏まえて、人口過少地域におけるICT環境の構築、運用、利活用に関し、学校・教育委員会など教育関係者が具体的に取り組む際に役立ててもらおうとするものです。今後、実証を重ね、ガイドブック 第3版まで発行を予定しています。

章	想定している読者層	主な対象	何について知りたい?	掲載ページ
第1章	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">教育委員会 学校教育担当</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">教員</div>	遠隔合同授業の実施を検討している方	なぜ遠隔合同授業を行う必要があるの？ 小規模校や少人数学級が抱える課題は？	P.2～
			遠隔合同授業のイメージや、授業の流れは？ 遠隔合同授業をすると、どんな効果があるの？	P.4～
			実際にどんな授業が行われているの？	P.11～
			定量的な効果は？	P.26～
第2章	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">教育委員会 学校教育担当</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">教員</div>	遠隔合同授業を実施している方	遠隔合同授業ではどんな学習活動があるの？	P.32～
			どのように授業の計画を立てるの？	P.40～
		遠隔合同授業の実施を検討している方	遠隔合同授業を行うためには、何を準備する必要があるの？	P.50～
			遠隔合同授業を行う際に気をつけることは？	P.54～
第3章	<div style="border: 1px solid purple; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">教育委員会 社会教育担当</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">実証団体</div>	社会教育における遠隔講座などの実施を検討している方	遠隔講座は、人口過少地域の課題に対してどんな効果があるの？	P.74～
			遠隔講座に対して、行政（教育委員会）としてどのような連携協力が必要なの？	P.76
			遠隔講座の具体的な取組は？	P.77～
第4章	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">教育委員会 学校教育担当</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">教員</div>	ICT環境の整備を検討している方	遠隔合同授業を行うためには、どんな環境や機器が必要なの？	P.84～
			遠隔合同授業を効果的に行うには、ICT機器をどのように配置すれば良いの？	P.100～
			遠隔合同授業を行うためのICTをどのように運用すれば良いの？	P.118～

### 3 本書における用語

本書における以下の用語は、次のような意味で使用しています。ただし、これらの用語は厳密に定義されたものではなく、今後、定義することが望まれます。

#### 遠隔会議システム

離れた場所同士で映像や音声などのやりとりを行うためのシステムのこと。  
ビデオ会議システムやWeb会議システムとも呼ばれる。

#### 遠隔合同授業

遠隔会議システムなどを利用して、離れた学校の学級同士をつないで行う授業のこと。

#### 遠隔講座

遠隔会議システムなどを利用して、地域住民などを対象にした研修や社会教育プログラムを行う講座のこと。

#### 少人数学級

少ない人数で編成される学級のこと、ここでは特に指導の際に様々な課題が生じる恐れのある人数で編成される学級のことを指す。

なお、小規模校とは学校教育法施行規則第41条を参考にした11学級以下の小中学校のことを指す。

※施行規則第41条「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」

※中学校については第79条において小学校の規定を準用。

#### 情報共有アプリケーション

授業支援システムや電子模造紙、SNSなどの、情報端末を用いて児童生徒同士で情報を共有するアプリケーションのこと。